

研推だよりNo.28



令和5年
1月10日
研究推進部会

先生方、今年もよろしくお願ひします。今年はいよいよ研究発表★みんなでがんばりましょう！

1 研究紀要（進行中）

製本・印刷は市内業者をお願いできそうです。現在、吉田さんに動いていただいで、業者の方に見積もりをお願いしています。

①構成

内容	ページ数	分担
表紙	1	佐藤
はじめに	1	校長
中表紙① I 研究の概要（色）		
1 研究主題	1	水流
2 主題設定の理由		水流
3 研究構想図	1	中島
4 研究の方法と内容	2	中島
5 研究組織図	1	中島
6 研究の経過	2	渡部
中表紙② II 実践の報告（色）		
1 中表紙③ 低学年分科会	1	低学年分科会
2 分科会提案	1	
3 2年実践報告（A 授業）	7	
4 1年実践報告（B 授業） ※授業実施後作成	3	
5 成果と課題	1	
1 中表紙④ 中学年分科会	1	中学年分科会 ※3年実践は、指導室 訪問のためページ 数が違ってきます。
2 分科会提案	1	
3 4年実践報告（A 授業）	7	
4 3年実践報告（B 授業）	7（※）	
5 成果と課題	1	
1 中表紙⑤ 高学年分科会	1	高学年分科会
2 分科会提案	1	
3 5年実践報告（A 授業）	7	
4 6年実践報告（B 授業）	3	
5 成果と課題	1	
1 中表紙⑥ すずかけ分科会 ※	1	すずかけ分科会
2 分科会提案	1	
3 すずかけ実践報告	7	
4 成果と課題	1	
中表紙⑦ III 研究のまとめ（色）		
児童アンケートの結果と考察	2	中島、佐藤
研究の成果と課題	1	水流
おわりに、講師の先生、研究に携わった教職員	1	副校長

1/6 締切 → 1/18（水） 締切（変更）

②作成のスケジュール

日程	会議等	研究推進委員	校内全体
2学期中		① 今年度の研究と成果と課題を校内全体に周知し、冬休み中に記入してもらう。	
冬期休業中		① 分担に沿って研究紀要作成	研究の成果と課題を入力
1 / 6 今日	三部会	① 紀要の各ページを持ち寄って校正チェック →修正箇所を確認し、再度分担に下ろす	1年B授業 →終了次第、紀要の原稿作成
1 / 25	三部会	① 修正した原稿を持ち寄って最終確認 ② 成果と課題（第1稿）を研推全体で確認 (原稿の印刷?) ※紙かデータか業者に確認します。	
1月末		① 業者へ紀要のデータ送信	
2月中		① 業者による製本 →製本が終了し、受け取り次第配布 (教育委員会、市内各校、校内教職員、他)	

③各学年の原稿モデル

【A 授業】

・指導案+授業の様子（写真、作品、ワークシート等）+協議会記録で「実践報告」とします。

6 本時（2時間目/全4時間）

(1) 目標 我が国の気候は、日本の位置や地形などの地理的な要因と、台風や季節風などの自然環境によって決まっていますが、各地の気候は人々の暮らしにも大きな影響を及ぼしていることを考え表現している。

(2) 総論

<p>○1上の学習活動 → 予想される見解の状況</p> <p>○前時より深まり、本時の進め方について確認させる。 ・前時、各ホームグループで意見をまとめたので、今日はそれを各グループで発表させます。 (初めて) 調べたことをホームグループで発表し、日本各地で気候が異なる理由を考えた。 ○前時に資料から読み取った情報について、ホームグループで発表し合う、共有する。 A. 緯度が違うと、太陽光の当たり方が変わるから、緯度によって気候が変わるらしいのだ。 B. 雲の量によって、日本各地の気候が異なるのだ。 C. 気候が異なる理由も、緯度が違うからなんだ。 ○気候についてグループで話し、まとめる。 ○エア・マトリクスによる共有・共有</p>	<p>○前時の学び【研推紀要】(研推方法)</p> <p>○AとBに似たしたシート(ワークシート)をもとに、学習の進捗地点を確認する。</p> <p>○発表者は議題にまとめたプレゼンテーションソフトを使用して発表する。 ○聞き手は、それぞれの発表を思考ツール(エア・マトリクス)に書きだしながら聞く。</p> <p>○話し合いでは、気候の違いから人々の生活に与える影響についても考えられるように仕向ける。</p>
---	--

○各グループの発表を、各グループのまとめの共通点を見つけて学習として1つにまとめるようにする。
○日本付近で季節によって風向きが変わる風を「季節風」と呼ぶことを全体で確認する。

【まとめ】
日本の気候は、日本の位置や地形などの地理的な要因と、台風や季節風などの自然環境によって決まっていますが、そこに住む人々の暮らしにも関わってくる。
○学習の振り返りをする。
・日本の気候が、様々な理由で場所によって違うことが分かってびっくりしました。今日はそれぞれの場所で、どのような気候になっているのか調べたいです。

【思案】 各地の気候を定める要因と、それが人々の暮らしに及ぼす影響について考え表現している。(話し合い・ノート)

<補足資料>

① 気候が課題解決のために観るべき資料:

(課題) 日本の場所によって気候が違うのは、なぜ?

<資料1>



<資料2>



<資料3>



② 今回取り組んだ「知識構成ジグソー学習」の展開例



③ 実際の授業での児童の様子

前時までに、児童はホームグループ内で分組してそれぞれの資料についてマスタグループで自分の考えをまとめたり、本時ではそれぞれの資料のまとめをホームグループ内で共有する準備活動をして、



ホームグループでの情報共有: 共有した情報を書きだし、全体で日本の気候の特色を共有

第(4)回 研究授業 協議会記録 記者: 舟田

1. 授業録
本日もお出かけ先にお越しいただきました。授業について子供たちについて、研究について御報告いただけたらと思います。

2. 分科性
書面にて

3. 授業者自評
Fordに慣れるようにしていったのは、二週間のFordの息を吐き出しやすい、雪天行をしながらよい。学習を進めていく上で、書いて方がよいと感じる手があった。最終的には、まとめた内容を自分で進めるようにしていきながらいいのと思う。回数の多から一つ進めようとしたのが良かった。事例と理由を書く経験が何回かするとより詳しく説明した文章が書けるようになると思った。

4. 全体出席

氏名	表現	その他:
成果	・組み立てメモとFordを二つの画面を使用して文章を書いている子がいた。 ・記事採集を行ったことで学習に取り組むやすくなった。記事の書き方や内容が確認したと思う。 ・ワードを使いこなしている子が多かった。	
質問	・発表児童の文章をテレビに映して、共有するといふのではなかったかと思った。	・ITを使うことで、個人差は埋まるのか、応答の可否 ・チェックポイントが多い理由
総論	・組み立てメモは、ノートや手帳の方がよいのではないかと感じた。 ・ペアの話し合いの時間を削って、授業の進めやすくなるのかもしれない。	・何に対して、容手難があるのかを認識する。(動機を高めるのが容易な手帳に両付けを使うのがいい) ... ・いつか、自分が書きたい文章があった時のために

学習指導案
4 ページ

授業の様子が分かる資料・写真
1 ページ

協議会記録
2 ページ

計 7 ページになるように調節して仕上げてください。



別紙に5年の実践報告を付けましてので、参考にしてください。

【B 授業】

・A 授業と同様に、指導案+授業の様子（写真、作品、ワークシート等）+協議会記録で「実践報告」とします。ただし総ページ数が違います。

『図画工作科学学習指導案』

令和 2 年 1 2 月 8 日 (水) 8 校時
第 1 学年 3 組 2 7 志
指導者 豊田 真
教員 第二回工業

1 単元名 「ずまちゃんの手紙をよみます」

2 本時の目標 (本時でどのような力を身に付けさせるのか)
(1) 手の回りの隙間を気付く、いろいろな形などを考えながら、隙間の面白さや楽しさを感じ取る。
(2) 手の回りの隙間の造形的面白さや楽しさについて、感じとったり考えたりし、自分の見方や感じ方を伝える。

3 本時のユニバーサルデザインの視点
(1) 学習の進め方の編成をする。
(2) カードの書き方を指導することで、取り勝りやすくなる。
(3) タブレットの操作方法を指導する。

学習活動 (児童)	指導上の留意点や評価点 (教師)
導入 1 本時のめあてと流れを編成する。 2 タブレットの準備をする。	◆カメラで撮影するのは全体席、近距離の一枚を撮ることを再度指導する。また、座席を配布する。 ◆タブレットの操作方法を指導、提示する。
展開 1 ずまちゃんとタブレットを仲ち、指定された場所を行き来し卒業を促す。 2 教室に張り、発表用の卒業を指示。 3 題名を考え、カードに記入する。	◆タブレットのカメラ機能を正しく使えているか。 ◆隙間を気付く、面白さや楽しさを感じながら、意図的に参加しているか。 ◆操作に悩んでいる児童がいなければ編成する。
まとめ 1 振り返りを記入する。 2 次時の流れを編成する。	◆等身像、カードを回収する。

5 評価
隙間を気付く、面白さや楽しさを感じながら意図的に参加しているか。

<補足資料>
①児童が課題解決のために調べる資料:
(課題) 日本の場所によって気候が違うのは、なぜ?
<資料1> <資料2> <資料3>

②今回取り組んだ「知識構成型ジグソー学習」の展開例:
1 課題を受け取り、個人で考えをまとめる。 2 各グループで話し合い、疑問を深める。 3 ジグソー活動 (各グループが自分の役割を担い、話し合い、課題を解決する)。 4 カラダ→全体で見聞交流を行う。 5 全体で課題に対する考えをまとめる。 6 本時で実践できる話し合い

③実際の授業での児童の様子:
前時までに、児童はホームグループ内で分組した資料についてマスターグループで自分の考えをまとめ、本時では各グループの資料の長所をまとめる。一度ホームグループ内で共有する学習活動で進めた。
ホームグループでの情報共有 共有した情報を書きだし、全体で日本の気候の特色を共有

『協議会記録』

第 (4) 回 研究授業 協議会記録 記録者: 舟田

1 授業録
本日も出勤先にお越しいただきました。授業について手帳たちについて、研究について詳細に話したかったらと思います。

2 分科会提案
書面にて。

3 授業者自評
Ford に慣れるようにしていったのは、二週間前。Ford の奥さば書を直しやすい、乗入れをしくなくてよい、学習を進めていく上で、書いた方が進いと感じる子がいた。最終的には、まとめた方法を自分で調べるようにしていかないといいのかもしれない。回数の少から一つ進めようとしたのが良かった。事例と理由を書く経験が何らかすより詳しく説明した文章が書けるようになると感じた。

発表	発表	その他
成果 ・組み立てメモと Ford を二つの画面を活用して文章を書いている子がいた。 ・回答資料を配ったことで学習に取り組みやすくなった。回答の進捗や内容が確認できると。 ・ワードを使いこなしている子が多かった。		
質問 ・発表児童の文章をテレビに映して、再考するといいた。 ・「IT を使うことで、個人差は埋まるのか」に気がした。	・メモを手書きで書く児童もいたのかと気がした。 ・「IT を使うことで、個人差は埋まるのか」に気がした。 ・チェックポイントが多い理由。	
感想 ・話し合う場面、事例や理由などにチェックポイントを絞るといい。 ・ペアの話し合いの時間は、発表を分ける形にするといいた。 ・何に対して、習字練習があるのかを配する。(助けを求めると習字に力が入るのかもしれない)。 ・いつか、自分が書きたい文章があった時のために		

学習指導案
1 ページ

授業の様子が分かる資料・写真
1 ページ

協議会記録
1 ページ

計 **3 ページ** になるように調節して仕上げてください。

別紙に5年の実践報告を付けました。「授業の様子がわかる資料・写真」の部分の参考にしてください。

【以前付け忘れていた「扉」と「分科会提案」「成果と課題」のprotocols】

高学年分科会

分科会提案

高-1

研究の成果と課題

<研究の成果>

<研究の課題>

高-2

➤ PC ➤ 教員共有\$ (¥20KSV103001) (W:) ➤ 02【研究推進部】 ➤ R4 ➤ 研究紀要 ➤ R4

↑ ここに入っています。